

## 感染症情報 9月25日～10月1日

府下小児科200療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	603例(堺市	31例)
②RSウイルス感染症	474例(堺市	38例)
③溶連菌感染症	363例(堺市	28例)
④手足口病	151例(堺市	5例)
⑤突発性発疹	79例(堺市	3例)

府下インフルエンザ定点306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	43例(堺市	7例)
---------	--------	-----

が報告された。

感染症報告数は前週比5.9%増の1,928件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下RSウイルス感染症、溶連菌感染症、手足口病、突発性発疹の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週比14%増、堺市で前週比11%増であった。RSウイルス感染症は府下で前週比9%減、堺市で36%減であった。定点当たりで見ると、前週が2.6で、今回は2.4であった。溶連菌感染症は府下で前週比35%増、堺市で前週24例→今回28例であった。手足口病は府下で前週比14%減、堺市で前週11例→今回5例であった。

インフルエンザは府下で前週19例→今回43例であった。堺市では前週2例から今回は7例に増加した。

麻疹の報告はなかったが、風疹が1例あった。